

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-48	中学校	数学	数学	2年
発行者の 番号・略号	教科書の 記号・番号	教科書名		
116 日文	数学 835	中学数学 2		

1. 編修の趣旨及び留意点

教育基本法ならびに学校教育法の趣旨をふまえるとともに、中学校学習指導要領 第1章 総則及び第2章 第3節 数学 に示された趣旨や目標、内容を基準にして、生徒たちが学習内容を確実に身につけ、意欲的に楽しく数学の学習を進められることをめざして編修しました。

2. 編修の基本方針

教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するために、特に次の点に意を用いて編修しました。

- ① 数学の基礎的・基本的な知識や技能、数学的な見方や考え方を確実に習得し、数学的な真理を求めめる態度を養うとともに、幅広い知識と教養が身につくようにする。
- ② 個に応じて学力を伸ばすことができるようにするとともに、生活や社会と数学との関わりを知り、数学を利用しようとする態度を養うことができるようにする。
- ③ 協働して取り組む活動の場面で、責任をもって自分の考えを伝え、他者の考えを認め、他者を敬う態度を身につけられるようにするとともに、社会の一員としての自覚を培えるようにする。
- ④ 防災、環境、福祉・健康などを数学と関連づけて取り上げ、生命や自然を大切にする態度を養うことができるようにする。
- ⑤ 伝統と文化を数学と関連づけた内容や国際理解を深められる内容を取り上げ、我が国を愛する心や他国を尊重する態度を養うことができるようにする。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	・〈2年生になって〉では、数学を学ぶことで身につく論理的な思考力や数学的な表現力が「生きる力」となっていくことを伝え、学習意欲を高められるようにしました。(第2号)	巻頭見返し①
	・ダイアグラムを紹介することで知的好奇心を喚起し、数学を学ぶことへの興味・関心を高められるようにしました。(第1号)	巻頭見返し②

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	<ul style="list-style-type: none"> 算数で学んだ角度のほかにも傾きぐあいを表す方法があることを紹介することで知的好奇心を喚起し、数学を学ぶことへの興味・関心を高められるようにしました。(第1号) 	巻頭見返し③
	<ul style="list-style-type: none"> 自分で考えること、学んだことを生活や社会で利用すること、他者と話し合って考えを伝え合うことなどを促す〈数学の学習で大切なこと〉を設けました。(第3号) 	P.6～7
1章 式の計算	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が協力し合って課題に取り組む学習活動の場面を設けました。(第3号) 	P.10～11
	<ul style="list-style-type: none"> 本文で基礎的・基本的な内容を丁寧に扱う一方、理解が早い生徒が進んで取り組むことができる追加問題として、横欄に〈チャレンジ〉を設けました。(第2号) 	P.14, 17, 19, 20, 21
	<ul style="list-style-type: none"> 「連続する3つの整数の和」の性質をもとに、「連続する5つの整数の和」を発展的に見だし説明する学習活動を取り入れました。(第1号) 	P.24～25
	<ul style="list-style-type: none"> 文字を使った説明を生活の中で利用する課題を取り上げました。(第2号) 	P.34
2章 連立方程式	<ul style="list-style-type: none"> 本文で基礎的・基本的な内容を丁寧に扱う一方、理解が早い生徒が進んで取り組むことができる追加問題として、横欄に〈チャレンジ〉を設けました。(第2号) 	P.41, 45, 46
	<ul style="list-style-type: none"> 環境教育の観点から、空き缶のリサイクル活動の場面を問題として取り上げました。(第4号) 	P.53
	<ul style="list-style-type: none"> 問題づくりの場面を設け、生徒の多様な考え方を生かしながら学習を進められるようにしました。(第2号) 	P.53
3章 1次関数	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の気づきや多様な考え方を生かしながら学習を進められるようにしました。(第2号) 	P.60～61, 65, 71, 76, 91
	<ul style="list-style-type: none"> 章の導入や変化の割合の考えを学習する場面では、学習内容と身のまわりのことがらを関連づけて扱いました。(第2号) 	P.60～62, 64～65

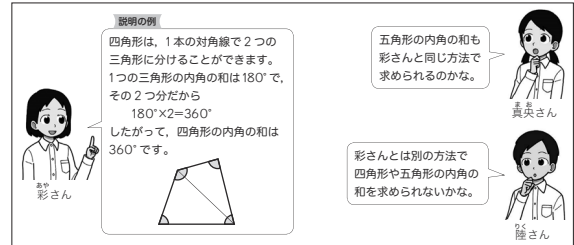
図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
3章 1次関数	<ul style="list-style-type: none"> 環境教育の観点から、電球型蛍光灯とLED電球を比較する課題を設けました。(第4号) 	P.90～91
4章 図形の性質と合同	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な課題を解決する場面で、考えを説明したり、話し合いをしたりする活動を設けました。(第3号) 	P.98～99, 109～111
	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の多様な考え方を生かしながら学習を進められるようにしました。(第2号) 	P.109～111, 124, 134
5章 三角形と四角形	<ul style="list-style-type: none"> 算数で学習した二等辺三角形の性質などと4章までに学習した内容を結びつけ、数学的な推論の必要性和意味を理解できるようにしました。(第1号) 	P.136～145
	<ul style="list-style-type: none"> 数学は過去の数学者の努力によって発達してきたことが理解できるコラムを掲載しました。(第5号) 	P.143
	<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりの具体物を平面図形とみなして考察する問題を設けました。(第2号) 	P.154
6章 確率	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活における疑問から数学的な課題を見だし、自ら進んで調べようとする態度を養えるようにしました。(第1号) 	P.166～167
	<ul style="list-style-type: none"> 統計資料の考察を通して生命や自然現象の不思議さを実感し、生命を尊び、自然を大切にする態度を養えるようにしました。(第4号) 	P.170, 171
	<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりの確率を積極的に取り上げ、確率の必要性和意味を具体的な場面と関連づけて理解できるようにし、社会性を身につけられるようにしました。(第2号) 	P.173, 180
巻末 数学マイトライ	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味・関心に応じて取り組むことができる問題や課題などを用意しました。生徒の自学・自習に対応できるよう、〈数学マイトライ〉には巻末に解答例を掲載しました。(第2号) 	P.185～238
	<ul style="list-style-type: none"> 他国の数学者の話や、我が国の伝統と文化である和算の話テーマとした特設ページを設けました。(第5号) 	P.188, 189
	<ul style="list-style-type: none"> 環境教育の観点から、地球の温暖化に関する特設ページを設けました。(第4号) 	P.192

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

人権への配慮

- 人権尊重や男女平等などの観点から素材を適切に選定しました。
- 中学生のキャラクター（真央さん、陸さん、彩さん、和也さん）が登場し、学習者の立場で疑問や考え方、説明のしかたの例などを示す場面では、役割を平等に与えました。

また、発表や話し合いをする場面では、発言者の話をしっかり聞き、その意見を適切に把握し、相手の考えを尊重しつつ、自分なりに考える態度を育成できるようにしました。



▲ P.109

特別支援教育, ユニバーサル デザイン

- 特別支援教育の専門家の校閲を受け、ユニバーサルデザインに配慮した紙面をつくりました。
- 文字の大きさや行間隔は、だれもが読みやすいよう配慮しました。
- ルビはすべて、読みやすいゴシック体としました。
- 文章は、だれもが読みやすい位置で改行しました。
- 〈例〉に見出しをつけることで、学習内容を理解しやすく、また、復習をしやすくしました。
- 初出の用語を示す文章や重要事項の背面に色をつけたり、学習活動の意図を示すマークをつけたりすることで、紙面にメリハリをつけ、集中して効果的に学習できるようにしました。

国際理解, 我が国の伝統と 文化

- 世界文化遺産である富士山に関する話題を数学と関連づけて取り上げました。(P.96)
- 「6章 確率」の導入では、女子サッカーのテレビ中継の場面を取り上げ、国際親善の意識を養うことができるようにしました。(P.166)

環境への配慮

- 資源ゴミ（空き缶、ペットボトルキャップ）の回収、環境負荷の低い商品の購入など、環境に関する内容を数学と関連づけて扱いました。(P.53, 192, 206, 220)

3 リサイクルのために、学校でペットボトルのキャップを集めています。集めたキャップの個数を知りたいのですが、1個ずつ数えるのはたいへんです。そこで、全部の個数を数えずに、およその個数を見積もりたいと思います。キャップ回収用の箱が空のときの重さはわかっています。次の問いに答えなさい。



▲ P.220

- 資源保護に配慮し、再生紙を使用しました。


- 防災教育に関する内容を数学と関連づけて扱いました。(P.85)

数学のたんけん

雷に気をつけよう


防災

音が空気中を伝わる速さは、そのときの気温によって変わります。気温が $x^{\circ}\text{C}$ のとき、音が空気中を伝わる速さを秒速 $y\text{m}$ とすると、 x と y の間には、およそ、次の関係が成り立つことが知られています。

$$y = 0.6x + 331.5$$


▲ P.85

- 福祉に関する内容を数学と関連づけて扱いました。(P.92, 198~199)
- 適度な光の反射で目に優しく、ページ増にもなう重量増をおさえる軽さを備えた本文用紙と、人体への影響が少ない植物性インキを使用しました。

- 〈保護者の方へ〉を設け、家庭と学校の連携を図ることを促しました。(巻頭見返し③)
- 家庭での予習・復習に効果的な〈次の章を学ぶ前に〉と〈くり返し練習〉には、家庭学習を促す  マークを付けました。
- 小節に〈くり返し練習〉の掲載ページを示すことで、その日の授業内容の復習がしやすいようにしました。
- 家庭学習に対応できるよう、〈次の章を学ぶ前に〉、各章末の問題、及び巻末〈数学 マイトライ〉の問題には、巻末に解答例を掲載しました。

 P.31 くり返し練習 1

▲ P.14 横欄

- 過去の全国学力・学習状況調査の結果をもとに、生徒が苦手とする内容を、各章の本文や節末、章末の問題などで、いっそう丁寧に扱うようにしました。
- 章末〈とりくんでみよう〉には、特に生徒が苦手とする記述式の問題を〈説明できるかな?〉として出題しました。
- 巻末〈力をのばそう〉の〈A 問題〉、〈B 問題 (活用)〉では、それぞれ過去の全国学力・学習状況調査の A 問題、B 問題で正答率の低かった問題を参考にして作成した問題を出題しました。

説明できるかな?

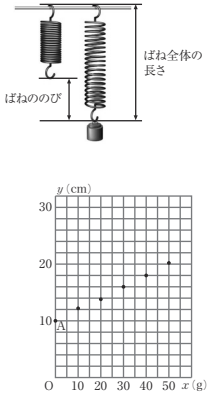
2 あるばねに、 $x\text{g}$ のおもりをつるしたときのばね全体の長さを $y\text{cm}$ として、 x と y の関係を調べたところ、次の表のようになりました。

x	0	10	20	30	40	50
y	10.0	12.1	13.8	16.0	18.0	20.2

また、この表の x と y の対応する点をグラフ用紙にとると、右の図のようになりました。次の問いに答えなさい。

(1) 右の図で、点 A の y 座標は 10 です。この値は、ばねについて、どのような数量を表していますか。

(2) 上の表や右の図から、 $0 \leq x \leq 50$ では、 y は x の 1 次関数とみなすことができます。その理由を説明しなさい。



▲ P.95

B問題(活用)

解答例 P.237

1 絵美さんは、連続する 3 つの奇数の和がどんな数になるかを考えています。次の問いに答えなさい。

(1) 絵美さんは、右に示した 3 つの例から、次の $\textcircled{7}$ のことを予想しました。

$$1 + 3 + 5 = 9$$

$$7 + 9 + 11 = 27$$

$$13 + 15 + 17 = 45$$

連続する 3 つの奇数の和は、9 の倍数になる。…… $\textcircled{7}$

しかし、この予想は正しくありません。 $\textcircled{7}$ が正しくない理由を説明するために、反例を 1 つあげなさい。

▲ P.218

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-48	中学校	数学	数学	2年
発行者の 番号・略号	教科書の 記号・番号	教科書名		
116 日文	数学 835	中学数学 2		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

基本的な考え方

生き抜く力を養う

— さらなる学力の向上を実現する —

グローバル化のさらなる進展により、変化の激しい、見通しの立てにくい社会となりつつあります。そのため、一人一人が自立をめざし、主体的・意欲的に取り組むことを通して、生き抜く力を身につけることが必要になっています。そこで、数学を学ぶにあたり、「生き抜く力を養う」ことを目標として設定し、学習指導要領の趣旨をふまえ、さらなる学力の向上を実現することをめざし、特に次の点に意を用いて編修しました。

1 “わかる数学・できる数学”へ

- ① 学習のねらいや内容の展開をわかりやすくすることにより、意欲的な学習活動を促し、基礎的・基本的な内容を確実に習得できるようにしました。
- ② 小中連携・学び直しを大切にすることにより、学習が滑らかに進展するようになりました。
- ③ 個に応じた学習の場面を設けることにより、理解の定着や技能の習熟を図ることができるようになりました。

2 “活用する数学”へ

- ④ 数学的活動を通して学んだことを深めたり、多様な考えに基づいて考察したりする学習展開を取り入れることにより、数学的な考え方が育成できるようにしました。
- ⑤ 言語活動を促す場面を積極的に取り入れることにより、表現力を育てられるようになりました。

3 “探究する数学”へ

- ⑥ 身近なことから数学の関わりや、数学が発展してきた歴史などに関する特設ページを多く設けることにより、数学のよさや有用性を実感できるようにしました。
- ⑦ 様々な課題を提示することにより、探究的な学習活動に意欲的に取り組めるようにしました。

編修上の留意点と特色

1 “わかる数学・できる数学”へ

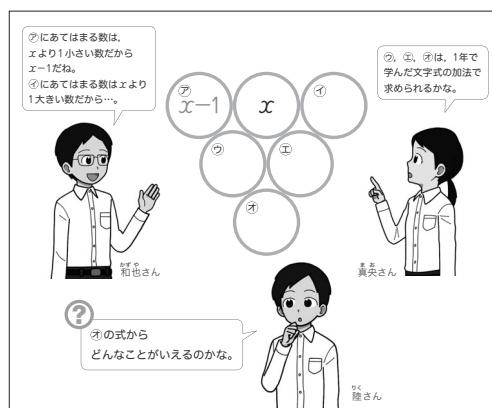
基礎的・基本的な内容を習得するために

①学習内容の 明確化

○原則として1小節を1時間の学習内容として構成しました。

○各章の導入にあたる〈章の扉〉では、学びの必然性・ストーリー性を重視した課題や身近な話によって、学習意欲を高められるようにしました。ここでは、中学生のキャラクターが、学習のきっかけとなる疑問や気づきなどを②マークのついた吹き出しで示しています。

○〈例〉ごとに見出しをつけ、生徒が学習内容を把握しやすくしました。



▲P.11

②小中連携、 学び直し

○もくじでは、学習の系統性を把握できるように、算数や1年で学習した内容のうち、各章の内容と関連する主なことがらを示しました。(P.2~3)

○既習事項を思い起こすための〈次の章を学ぶ前に〉を、すべての章の直前に設けました。

○既習事項をふり返ることが有効な場面において、既習事項を示したり、参考になるページを示したりする〈ふりかえり〉を設けました。(P.14, 89, 150, 159など)

③個に応じた 学習

○〈問〉を早く終わらせてしまった生徒が自主的に取り組むための追加の問題として、小節の横欄に〈チャレンジ〉を設けました。(P.17, 45, 76など)

○学習習慣を定着させるために、家庭学習を促す🏠マークを設けました。(P.35, 41, 55など)

○章末には、基礎的な技能の問題である〈くり返し練習〉、やや程度の高い〈とりくんでみよう〉を設け、個に応じて学習できるようにしました。

○巻末〈力をのばそう〉には、全国学力・学習状況調査で正答率が低かった問題を中心とした〈A問題〉(P.210~217)、〈B問題(活用)〉(P.218~223)と、思考力を伸ばすための〈いろいろな問題〉(P.224~227)を用意しました。

2 “活用する数学”へ

数学的な思考力・表現力を育み、数学を活用する能力を伸ばすために

④数学的活動

○巻頭の〈数学の学習で大切なこと〉では、数学的活動や言語活動に取り組むために大切なことを、生徒にわかりやすく伝える工夫をしました。(P.6~7)

○各小節には、次のような学習活動を設けました。

🔍**見つけよう** …新たな性質などを見つける活動 (P.24~25, 102, 109~111, 175など)

🏠**生活への利用** …身のまわりのことがらに数学を利用する活動 (P.90~91, 180など)

🗨️**説明しよう** …方法や理由などを説明する活動 (P.42, 84, 85, 103, 108, 156, 173など)

○横欄の🤔**考えよう**には、本文や〈問〉などについて、より深く考えるための問いかけを示しました。(P.26, 66, 107, 112など)

- やってみよう には、学んだことを活用して考える課題を示しました。(P.53, 108, 158など)
- 数学を活用する力をいっそう伸ばせるように、その章で学んだことをさらに深めたり発展させたりする **〈深める数学〉** か、学んだことを使って身のまわりの問題を解決する **〈生活への利用〉** のいずれかを、各章末に設けました。
- **〈ノートの工夫〉** では、数学的な思考力や表現力を養うとともに、学習習慣が身につくノートづくりのポイントを示しました。(P.8)
- 初出の用語の使い方を理解できるように、その用語を使った表現の具体例を **〈表現の例〉** として示しました。(P.63, 70, 103, 105など)
- 小節の横欄や小節末などに設けた **話し合おう** には、みんなで話し合って解決する課題を示しました。(P.65, 76, 91, 174など)
- 数学的な表現力が身につくように、説明の見本を **〈説明の例〉** や **〈○○さんのノート〉** として示しました。(P.109, 158, 180, 186, 187など)
- 章末 **〈とりくんでみよう〉** には、方法や理由などを数学的な表現を用いて説明する記述式の問題を **〈説明できるかな?〉** として出題しました。
- 巻末の **〈数学レポートをかこう〉** では、数学的活動の過程をふり返り、その成果を共有するためのレポートのかき方を示しました。(P.202～203)

⑤言語活動

3 “探究する数学”へ

数学を学ぶ楽しさや数学のよさを実感するために

⑥生活や社会、他教科との関連

- **〈数学のたんけん〉** には、防災(P.85)、福祉・生活(P.92)、数学史(P.143)などに関連した興味深い話を掲載しました。
- 他教科に関連する内容を取り上げました。(理科 P.84, 85, 95, 190)
- 巻末 **〈数学研究室〉** には、思考力、判断力、表現力などを育成するための課題学習を設けました。(P.186～187, 193, 194, 196～197, 200～201など)

⑦中高連携・発展的な学習

- 生徒の興味・関心に応じて、発展的な学習内容に取り組めるようにしました。(P.58, 195)

4 その他の配慮事項

道徳教育

- **〈2年生になって〉** では、数学を学ぶことを通して道徳性を養い、自己を向上させることへの意欲を高められるメッセージを掲載しました。(巻頭見返し①)
- 自らの考えを発表し、他者の多様な意見を尊重し、話し合いを通してよりよい考えを作り上げていく展開を重視しました。(P.10～11, 24～25, 98～99, 109～111など)

伝統と文化

- 我が国の伝統と文化である和算に親しみ、国を愛する心が育つような内容を取り上げました。(P.189)

ICT 機器の活用

- ICT 機器を活用する内容を取り上げました。(P.192)

今日的な課題

- 防災(P.85)、環境(P.53, 192, 206, 220など)、福祉(P.92, 198～199など)といった今日的な課題を、数学と関連づけて積極的に取り上げました。
- 消費者教育に関わる内容を取り上げました。(P.90～91, 206)

領域別の特徴

A 数と式

- 1年で学習した内容について学び直す機会を適宜設け、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得できるようにしました。(P.11, 13~16, 22, 28, 38, 40, 42, 50など)
- 2章「2節 連立方程式の活用」はページ数を増やし、多様な問題を扱うなど、いっそう丁寧に扱えるようにしました。(P.48~53)

B 図形

- 数学的な見方や考え方を養えるよう、図形の性質を予想し、その予想が正しいことを論理的に説明する学習展開を重視しました。(P.98~100, 102, 104, 112, 150など)
- 証明の初期段階の内容を丁寧に扱い、証明のしくみを理解し、証明のかき方や証明の方針を立てることなどを確実に習得できるようにしました。(P.120~129)

C 関数

- 1年で学習した比例、反比例と対比しながら1次関数の基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得できるようにしました。(P.60~61, 66, 68など)
- 1次関数を生活の中で利用する能力と態度を養うようにしました。(P.88~92, 96)

D 資料の活用

- 生徒の学習意欲を高められるよう身近で親しみやすい素材や資料を扱うとともに、確率を用いて不確実な事象をとらえ説明する活動を重視しました。(6章全体)

教科書の構成

巻頭	<ul style="list-style-type: none"> ○この本の使い方 ○数学の学習で大切なこと ○ノートの工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ◎〈巻頭〉は、新年度の当初に行われる数学の授業のオリエンテーションで使うことができる内容です。 ○それぞれのコーナーでは、主体的な学習への取り組み方や言語活動における留意点、ノートづくりの工夫の例などを示しています。
章	次の章を学ぶ前に	○〈次の章を学ぶ前に〉は、既習事項(算数や1年で学んだことがら)のうち、次の章の学習につながる問題などです。
	章の扉	○〈章の扉〉は、これから学ぶことのきっかけとなる場面です。
	節	<ul style="list-style-type: none"> ○〈小節〉は、学習の焦点化を図りやすく、また、復習がしやすいように、原則として1時間の授業の内容で構成しています。 ○〈数学のたんけん〉は、数学への興味・関心を高める話や課題などを扱った特設ページです。
	章末	<ul style="list-style-type: none"> ○節末の〈基本の問題〉、章末の〈章のたしかめ〉は、それぞれの学習範囲の基本的な内容が習得できているかを観点別に評価するための問題です。 ○章末の〈くり返し練習〉は、補充や復習のための基本的な問題です。 ○章末の〈とりくんでみよう〉は、個に応じて取り組むことができる、やや程度の高い問題です。 ○章末の〈深める数学〉、〈生活への利用〉は、各章で学習した内容をもとに、数学的に探究したり、生活の場面で利用したりする、活用のための特設ページです。学校での予備時間などに使うことを想定しています。
		<ul style="list-style-type: none"> ○深める数学 ○生活への利用
巻末	数学 マイトライ <ul style="list-style-type: none"> ○数学研究室 ○1年の復習 ○力をのぼそう ・解答例 ・さくいん 	<ul style="list-style-type: none"> ◎〈数学 マイトライ〉は、個に応じた学習を充実させるとともに、主体的に学ぶ態度や学習習慣を身につけさせるためのコーナーで、家庭学習や学校での予備時間などに使うことを想定しています。 ○〈数学研究室〉は、探究的な学習に取り組むためのコーナーです。 ○〈1年の復習〉は、基礎学力の定着を図るためのコーナーです。 ○〈力をのぼそう〉は、全国学力・学習状況調査で正答率が低かった問題を中心とした〈A問題〉、〈B問題(活用)〉と、思考力を伸ばすための〈いろいろな問題〉で構成しています。

2. 対照表

章	学習指導要領 の内容	該当箇所	配当 時数	
1章 式の計算	A(1)ア	P.10～23	14	
	A(1)イ	P.24～27		
	A(1)ウ	P.24～30		
	数学的活動(1)	ア…P.24～25 (文字を使った説明①), 26, 27 イ…P.34 (陸上トラックのセパレートコース) ウ…P.24～25, 34		
2章 連立方程式	A(2)ア	P.36～39	13	
	A(2)イ	P.36～39		
	A(2)ウ	P.40～54		
	数学的活動(1)	ア…P.58 (3つの文字をふくむ連立方程式) イ…P.48～53 ウ…P.42, 58		
3章 1次関数	C(1)ア	P.60～63	18	
	C(1)イ	P.64～77		
	C(1)ウ	P.78～83		
	C(1)エ	P.84～91, 96		
	数学的活動(1)	ア…P.66, 67, 78 イ…P.88～89, 90～91 (身のまわりの問題を1次関数で考えよう), 96 (高度と気温) ウ…P.65, 71, 76, 82, 84, 85, 87, 91		
4章 図形の性質と 合同	B(1)ア	P.98～108	17	
	B(1)イ	P.109～113		
	B(2)ア	P.115～119		
	B(2)イ	P.120～125		
	B(2)ウ	P.124～130		
	数学的活動(1)	ア…P.98～100, 102, 104, 107, 109～111 (多角形の内角の和), 112, 117, 120, 124～125, 128, 134 (星形五角形) ウ…P.103, 106, 108, 109～111, 112, 116, 134		
5章 三角形と四角形	B(2)ウ	P.136～165	18	
	数学的活動(1)	ア…P.150, 157, 164～165 (条件を変えて考えよう) ウ…P.156, 164～165		
	内容の取扱い(1)	P.156～158		
6章 確率	D(1)ア	P.166～179	10	
	D(1)イ	P.180		
	数学的活動(1)	ア…P.173, 175, 176, 184 (マークの組み合わせの確率) イ…P.180 (起こりやすさを調べて説明しよう) ウ…P.169, 173, 174, 180, 184		
(予備時間：15時間)			合計	90

※予備時間は、学校や生徒の実態に即して弾力的に扱っていただくための時間です。

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-48	中学校	数学	数学	2年
発行者の 番号・略号	教科書の 記号・番号	教科書名		
116 日文	数学 835	中学数学 2		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項
58	深める数学 3つの文字をふくむ 連立方程式	2	[第2学年] 2内容 A(2) ア 二元一次方程式とその解の意味を理解すること。 イ 連立二元一次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解すること。
195	数学研究室 期待値	1	[第2学年] 2内容 D(1) ア 確率の必要性和意味を理解し、簡単な場合について確率を求めること。 イ 確率を用いて不確定な事象をとらえ説明すること。 [数学B] 2内容 (1) ア(ア) 確率変数及び確率分布について理解し、確率変数の平均、分散及び標準偏差を用いて確率分布の特徴をとらえること。

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 2)

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容